

テーマ

歴史・人・自然・もの・未来につなげる ESD**ふるさとに夢と誇りを持とう**

目標

故郷の良さを発見！ 故郷の良さを発信！ 故郷の文化をつないでいこう！**今年度の取組紹介**

「アルミ缶回収活動」に取り組んで今年で21年目になります。当時の中学校生徒会の呼びかけで始まり、地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり継続して実施しています。今年は、地域の特別養護老人ホームや月ヶ瀬地区社会福祉協議会そして南三陸の病院にも車椅子等福祉機器を寄贈させていただきました。これで今までに寄贈した福祉機器は123台になりました。また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会などを通してスポーツや文化に触れたり、福祉センターの「いきいき講座」への出演や友愛訪問、地域清掃などで高齢者の方や地域の方々とも交流することができました。

さらに、小中合同避難訓練、校舎改築とともにう移転作業、こ小中梅採りなど、こども園・小学校・中学校と連携して多くの取組を実施しました。



アルミ缶回収活動



月ヶ瀬マラソン



こ小中梅採り

今年度のまとめ

地域で取り組んだアルミ缶回収活動で、今年も社会福祉協議会から感謝状をいただきました。今後も継続してこの取り組みを続けていくための励みになります。

地域ぐるみの体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会への参加により、スポーツや地域の文化に触れ、地域がつながり、「地域の子どもを地域で育てる」体制ができました。

さらに、今年度は中学校改修のため月ヶ瀬クリーン部隊を中心に移転作業および教育環境の整備に協力しました。ふるさとに誇りを持ち、郷土の良さを伝え、地域の伝統文化を継承するこどもを育成し、地域の取組を発信していきたいと思えます。

来年度に向けて

今後は、若い支援者を広げ、若者が定住できる環境、仕事、活性化の取組を考えていく必要があります。協議会としては、地元の若者との交流を大切にして、話し合いを進め、地域協議会の活動に多くの若者が参加していける環境づくりをしていきたいです。

テーマ

ふるさとに夢と誇りを持とう

目標

ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、
未来につないでいく生徒の育成

今年度の取組紹介

ふるさとを知る取組として、毎年「ふるさと Walk」を実施しています。今年は尾山地区と石打地区をボランティアの方に案内していただき、それぞれの地区を巡りました。また、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、闘茶会、紅花染体験、奈良晒体験、地域清掃、梅林清掃への参加など多くの活動を通じてふるさと学習に取り組みました。

昨年立ち上げた「月ヶ瀬観光戦略課」の活動として、今年度も近鉄奈良駅前でお茶をふるまい自作のチラシを配ってPR活動をしました。

また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、梅溪マラソン大会にも参加しました。



ふるさと WALKで尾山地区を巡る



紅花染の実習



近鉄奈良駅前でも月ヶ瀬観光戦略課がPR活動

今年度のまとめ

ふるさと学習を通して、故郷を発見、故郷の良さを発信、故郷の文化をつなげたと考えています。「アルミ缶回収活動」は、今年で21年目になりますが、この活動に対して、社会福祉協議会より感謝状をいただきました。3年生がおこなった近鉄奈良駅前でのPR活動では、生徒だけではなく地域の様々な方が関わっていただき大変盛り上がり、効果もあったように思います。また、生徒たちがつくった梅干しをバザーで販売しました。

来年度に向けて

少子高齢化の進むへき地ですが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。こ小中の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいと思ひます。また、広報活動を活発にし、若い世代の取り込みを積極的に進めていきたいです。

テーマ

ふるさと大好き、月ヶ瀬っ子！

目標

月ヶ瀬の良さを体感するために、特産品・この地域にしかない物作りの体験学習や地域に伝わる伝統芸能継承者の方から直に教えていただくことを通して、ふるさと月ヶ瀬をもっと好きになり、将来への夢に繋げる。

今年度の取組紹介

地域の皆さんの協力と支援を受け「豊かな体験 伝える思い 受け継ぐ心」を育て、「地域に支えられ 地域に生き 将来の夢に繋げる」活動を行っています。

一つ目は月ヶ瀬の特産「梅」「茶」に関わる活動です。まず、梅に関わる活動として、保勝会で管理されている梅林の青梅を利用して、「梅干し作り」体験。そして、日本で唯一継承されている方の指導で、熟した梅にすずをまぶし燻製にする「烏梅づくり」体験。更にその烏梅を使って紅花染を体験しています。

次に、茶に関わる活動では「手揉み茶体験」を行っています。今は機械化が進み普段目にできない体験です。「闘茶会」では、お茶を飲み種類を当てています。また、「月ヶ瀬における茶の歴史」についても、いつ頃から栽培が始まり、普段の



茶に関わる作業、生産量の推移など、生産者から直接お話を聞いています。



二つ目は、伝統文化・芸能の継承活動です。毎年5年生は「尾山万歳」6年生は「狂言」を各保存会の方々の指導を受け学習発表会で発表しています。子どもたちは、5年生・6年生になって発表するのを楽しみにしています。「万歳」も「狂言」も立ち居振る舞い、発声の仕方など指導を受け、今まで継承されてきた郷土の伝統を受け継いでいこうという思いで、熱心に教わり演じます。

今年度のまとめ

地域から学んだことを地域に発信することで自信を持ち、地域を元気にしていこうと取り組んできました。取組内容による学びの広がりや深まりと地域の方との温かい交流が、コミュニケーション能力の向上につながっています。また、得難い体験と素晴らしい人・ものに触れて生まれ育った地域への誇りと愛着を育んでいます。

来年度に向けて

本校区は地域ぐるみで子どもを育む機運に富み、学校教育に大変協力的です。こうした地域の方々に生まれ、見守られながら自尊感情を高めるために「地域の先輩から学ぶ」取り組みを継続していきたいと考えています。来年度は小中学校施設一体型として連携を密にし、協力して元気な学校が元気な地域作りの要になれるよう、この「学び」を大勢の前で発表したり、発信したりすることで自分の思いや考えを伝えられる力をつけさせていきたいです。

テーマ

友だち大好き・こども園大好き・月ヶ瀬大好き

目標

自然や地域の人とのかかわりを通して、豊かな心を育み、たくましくいきいきと活動する子どもを育てる

今年度の取組紹介

・お茶摘み体験・茶工場見学

地域の産業に触れる体験をしようということで、お茶生産の方にお世話になり茶畑を見学し茶摘みを体験させていただきました。お茶について話を聞かせていただきながら、茶葉の香りがする茶畑の中で一つ一つ丁寧に摘んでいました。摘んだ茶葉は工場に持って行き、煎茶に加工していく様子を見学させていただきました。



・陶芸体験

地域で陶芸に関わる仕事をしておられる方の紹介で陶芸家に来ていただき、煎茶を飲む湯呑みとお菓子入れの器作りをしました。土に触れる初めての体験でしたが、説明に耳を傾け真剣に取り組んでいました。



・お茶会

自分達で摘んだお茶を工場で作った煎茶を製造してもらってお茶会をしました。お香がたかれ、季節の花が飾られた静かな曲が流れるいつもと違った空間の中で、地域のお茶を自分達で作った器で味わう経験は、五感をフルに使った貴重な体験になりました。

今年度のまとめ

初めての取り組みだったので、事業の計画をたてる段階から戸惑うことが多く、周りの方に教えていただいたり、助言をもらったりしながら進めてきました。地域の方は理解があり協力的でした。子ども達の取り組みの様子を地域に発信する中で、喜びの声もたくさん聞くことができました。

子ども達は地域に出かけ、地域の方と関わり、いろいろな経験を楽しむことができたことで得るものも多くありました。自分達が住んでいる地域に関心を持ち親しむ良い機会になりました。

来年度に向けて

1年の取り組みを通して多くの経験をしてきたので、次年度はもっとスムーズに進められるのではないかと思います。目標に向けて子ども達が更にいきいきと活動できるよう事業内容を検討し進めていきたいと思っています。